

学校自己評価(年間計画)統合版

平成29年度

学校自己評価表(年間計画)

学 校 運 営 計 画																
学校運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学科の特色を踏まえ、充実した商業教育・情報教育の充実を図り、社会で評価される資格の取得等をとおして、生徒の自己実現を目指す。 ・国際理解教育、英語教育の充実を図り、豊かな国際感覚を持った生徒の育成をとおして、生徒の自己実現を目指す。 ・充実した部活動や学校行事をとおして、高い目標に向かって挑戦する心の育成や、他者と協力して取り組む姿勢や自主性・自発性の育成を図る。 															
教育目標	<p>1 心身ともに健全で個性豊かな人間を育成する。 3 國際的な教養と産業経済人として必要な知識技能の習熟と見識の高揚を図る。</p> <p>2 互いの人格を尊重し、正義を愛し、よりよい社会の形成者を育成する。 4 高い知性と徳性を有し、国際感覚豊かな人材の育成に努める。</p>															
昨年度の成果と課題	年度の重点目標		具体的目標													
7月に完成した新校舎への移転に、教職員・生徒が協力して取り組み、円滑な学校生活を送ることができた。各分掌・各学年・各学科・各教科の取り組みについて、自己評価や生徒・保護者アンケートとも総じて良い結果を得ることができた一方で、厳しい意見をいただく部分もあった。生徒の進路実現や部活動等の自己実現でさらに良い成果をあげるために、各分掌と学年との連携を強化など、より組織的に取り組むことが課題である。	授業内容の充実と学力向上		積極的に授業公開を実施するなど、生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善により、生徒の学習意欲を引き出すとともに、授業時間、家庭等における学習時間の確保により、学力の向上を図る。													
全職員の協力による生徒指導体制の整備	全職員の共通理解のもと、担任と副任の連携を強め、組織的な生活指導、教育支援などを推進し、生徒の社会性及び自律性の育成に努める。															
進路実現に向けた指導の充実	3年間の計画的なキャリア教育やきめ細かな個別面談などを実施し、生徒一人一人が適性に応じて進路を選択し、よりよい自己実現ができる能力を養うとともに、進路実現を図るため、分掌と学年が連携して指導に当たる。															
各部活動や生徒会活動等の一層の活性化	部活動や生徒会活動のさらなる活性化を図るとともに、これらの活動をとおして、生徒の自主性、人間関係を築く力やリーダーシップを育成する。															
各学科の教育目標に応じた指導の充実	学科の特色を踏まえた専門教科の学習をとおして、簿記会計、IT、英語等における高度な資格取得や技能の習得を図り、将来、産業経済界や国際社会で活躍できるスペシャリストや地域産業の担い手など、志を持った人材育成の推進に努める。															
安心して学校生活が送れる環境作り	本校の「いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの未然防止に努めるとともに、早期発見による早期解決に向け、組織的な対応を進める。また、特別な支援を必要とする生徒はもちろん、一人一人の生徒の状況や個性に応じたきめ細かな対応に努め、安心して学校生活を送ることができる環境作りを進めること。															
重点目標	具体的な方策		最終評価	評価者	評価方法	評価基準値(目標数値等)			数値等(実績値)							
教務	授業内容の改善・充実を図り生徒の学力向上に努める。			職員	アンケート	A:概ね当てはまるが70%以上	B:概ね当てはまるが50%以上	C:概ね当てはまるが50%未満								
	○生徒の学習意欲等の把握に努める。			生徒	アンケート	A:概ね当てはまるが80%以上	B:概ね当てはまるが70%以上	C:概ね当てはまるが70%未満								
	○家庭学習の習慣化を図る。			生徒	アンケート(数値)	A:家庭学習2時間以上	B:家庭学習1時間以上	C:家庭学習1時間未満								
	○保護者向け講演会・合格者体験発表会への参加率の向上を図る。			数値	年度末数値	A:講演会・発表会参加50名以上	B:講演会・発表会参加30名以上	C:講演会・発表会参加30名未満								
	○We bページを活用し教育活動の積極的な公開を図る。			数値	年度末数値	A:We bページ更新年120回以上	B:We bページ更新年100回以上	C:We bページ更新年100回未満								
	○緊急時における生徒・保護者の情報伝達方法の充実を図る。			数値	年度末数値	A:会報・新聞併せて発行年5回以上	B:会報・新聞併せて発行年3回以上	C:会報・新聞併せて発行年3回未満								
	○PTA会報や学校新聞の発行と内容の充実を図る。			保護者	アンケート	A:概ね当てはまるが80%以上	B:概ね当てはまるが70%以上	C:概ね当てはまるが70%未満								
	○単位履修に必要な授業時間の確保する。(32単位×35週=1120時間)			数値	年度末数値	A:1155時間以上	B:	C:1155時間未満								
	○自習時間の減少を図る。			数値	年度末数値	A:年間自習率1.0%未満	B:年間自習率1.0%~1.25%	C:年間自習率1.25%以上								
	○情報の共有化と工夫を図り、定期的な整理を行う。			職員	アンケート	A:概ね当てはまるが80%以上	B:概ね当てはまるが50%以上	C:概ね当てはまるが50%未満								
生徒指導	新校舎における子育環境等の調整に努める。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	服装・頭髪について、清潔感と爽やかさを大切にしながら、「生徒心得」の規定を遵守するよう、粘り強く丁寧に指導を継続する。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○恒常的な朝の校門指導により、遅刻防止の徹底と通学マナーの向上を図る。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○チャイムと同時に授業開始するなど、職員の側が手本となることで、生徒に時間遵守の意識を高めさせる。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	貴重品管理の徹底(不必要な物や高額の金品は持ち込ませない)や、ロッカー・部室等の施設の徹底を図り盗難を無くす。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
いじめや学校生活に対する悩みを持つ生徒への対応	高校生として当たらぬ二つのが当たらぬ前にできるよう、基本的な生活習慣の確立と社会性の育成に努める。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○地元活動への参加・協力			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○学校の外周道路を清掃、花の手入れ(生活委員や学年)			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○町内清掃への参加(部活動)			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○町内への支援(駅前清掃、お祭り協力、除雪協力など)			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
生徒会	校長を中心に関教職員が一致協力して、問題の早期発見と早期解決にあたる。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○いじめなどの問題について、その重大性を全教職員が認識し、情報を共有し共通理解の上で、学校全体で組織的に対応する体制を整える。また、課題を持つ生徒に対して、担任を中心に悩みを相談しやすい雰囲気を醸成するよう努める。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	学校だより、学級通信、PTAの会合、個別面談などを通じて学校と保護者が日常頃から情報交換を行い、連携して問題解決に取り組む体制を整える。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○いじめに関するアンケートを年2回以上実施するとともに、生徒に対する個別面談を年2回以上実施し、いじめや生徒の悩みの早期の発見に努め、迅速な解決を図る。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○事前打合せが十分なされたかの質問に4段階で2段階以上が、A:80%以上 B:70%以上 C:70%未満			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
進路指導	生徒会行事の活性化			生徒	アンケート	「行事に主体的に参加できたか?」の質問に、4段階で2段階以上が A:70%以上 B:60%以上 C:60%未満										
	各行事後に、生徒と職員双方にアンケートを実施する。これにより行事の改善点を明確にして、より良い行事のあり方を検討する雰囲気作りに努める。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	○部活動の活性化を支援する。そのための社行会と表彰式を計画し実施する。また、応援部の指導を適切に行うこと、生徒の連帯感や意欲の向上を図る。			生徒	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	H R間計画や長期休業中ににおける部活動の練習計画を把握し、全体に提示することで様々な活動が円滑に行われるようになる。また、部活動の加入状況や大会成績など、適宜情報収集・提供する。			職員	アンケート	達成感を問う4段階の質問項目で3段階以上の回答が	A:80%以上	B:60%以上	C:60%未満							
	生徒会誌の適切な編集と発行を通して、様々な情報の発信と学校生活の活性化への一助となるよう努める。			生徒	アンケート	「生徒会誌「草原」を読んだか?」の質問に、4段階で2段階以上が A:70%以上 B:60%以上 C:60%未満										
進学指導	生徒会費の適切な運用			職員	アンケート	「適切な情報提供ができたか?」の質問に、4段階で2段階以上が A:70%以上 B:60%以上 C:60%未満										
	生徒会費全額の年度予算が適切に執行されたことを監査する。また生徒会総会を開き、監査報告を行い承認を得る。			生徒	アンケート	「生徒会誌「草原」を読んだか?」の質問に、4段階で2段階以上が A:70%以上 B:60%以上 C:60%未満										
	○各クラブの予算が適切に執行されるように、活動費の管理と運用状況を常に把握する。また、各クラブの活動状況を考慮し、適切な予算編成を行う。			職員	承認	予算の執行状況ならびに年度内の実績をまとめた次年度の予算編成について、適切であるか承認を受けて A:承認された B:承認されなかった										
	○活動のPR(連携)			生徒	承認	予算の執行内容は適切であり、監査も適切であったと、生徒会総会で承認を受ける。 A:適切であった B:適切で無かった										

1学年	①基本的生活習慣の確立を図る	○SHRに遅刻をせずに、気持ちの良い一日の始まりを迎える。5分前行動を心掛ける。				数値 年度末数値 A : SHR時の出席率98%以上 B : SHR時の出席率98%未満 C : SHR時の出席率96%未満	
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶および廊下で挨拶をさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未満	
		○高校生らしい正しい制服の着用（頭髪等も含む）をさせる。バッジ・ネクタイの着用を励行させる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未満	
		○教室の私物の整理整頓をするとともに、ごみの分別を正しく行わせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
	②学習の機会の確保及び学力の向上を図る。	○朝学習を実施し、学習内容の確認をする。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加する。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○家庭で、提出課題にきちんと取り組む。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○学年だよりを発行し、情報の提供を図る。				数値 年度末数値 A : 1回以上 B : 8回～5回以上 C : 4回以下	
	③家庭と学校との連携を図り、生徒理解を図る。	○保護者面談を年2回以上実施する。				保護者 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○個別面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○SHRに遅刻をせずに、気持ちの良い一日の始まりを迎える。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○登下校時及び授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下等で気持ちのよい挨拶をさせる。				数値 年度末数値 A : 出席率99%以上 B : 出席率98%以上 C : 出席率98%未溎	
		○新商生らしい、正しい制服の着用（頭髪等も含め身だしなみ）をさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○教室内及びロッカーの私物の整理整頓とゴミの分別を正しく行わせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
2学年	②学習時間の確保と学力の向上を図る。	○朝学習を実施し、学習習慣を身につけ、学習内容の確認をさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○授業では私語・居眠りをせず、積極的に授業に参加させる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○家庭での提出課題にきちんと取り組ませる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○インターンシップを実施し、職業意識の啓発と職業観を育成する。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
	③早期の進路意識の啓発と対策を図る。	○LHRなどで、「進路の手引き」を利用し、進路選択に役立てる。				数値 年度末数値 A : 民間就職希望者の参加率90%以上 B : 参加率80%以上 C : 参加率80%未溎	
		○模擬試験や資格検定試験等には積極的にチャレンジさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが80%以上 B : 概ね当てはまるが70%以上 C : 概ね当てはまるが70%未溎	
		○学校・生徒会行事に積極的に参加させ、人間関係の育成に努める。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○部活動を通じて、精神的・肉体的な成長を図る。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが80%以上 B : 概ね当てはまるが70%以上 C : 概ね当てはまるが70%未溎	
		○個別面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 部活動参加率80%以上 C : 部活動参加率70%未溎	
		○保護者面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
3学年	①新商生の自覚を持ち、最高学年として他学年の模範となるような行動をとれる高校生活を送らせる。	○SHRに遅刻せずに、一日の始まりを気持ちよく迎えさせる。				数値 年度末数値 A : 出席率99%以上 B : 出席率98%以上 C : 出席率98%未溎	
		○登下校時・授業の開始終了の挨拶はもちろん、廊下で挨拶をさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○高校生らしい正しい制服の着用（頭髪等も含む）をさせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○教室の私物の整理整頓をするとともに、ごみの分別を正しく行わせる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
	②学習の機会と時間の確保及び学力の向上を図る。	○朝学習を実施し、学習内容の確認をする。また進路に向けた内容も組み入れ、小論文や一般常識の対策をする。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○授業では私語・居眠りをせず集中し、積極的に授業に参加させる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○家庭では提出課題にきちんと取り組む。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○LHRなどで「進路の手引き」を利用し、進路選択に役立てる。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。				生徒 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
商業関連学科	④家庭と学校との連絡・連携を図るとともに、生徒理解を図る。	○進路実現に検定が必要となることを再認識させ、検定取得の意欲を持たせる。				数値 年度末数値 A : 8回以上 B : 5回以上 C : 5回未溎	
		○学年だよりを年8回以上発行し、情報の提供を図る。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○保護者面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○個別面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
	⑤家庭との連絡・連携を図り、家庭の運営を図る。	他の教員の授業参観を行い、授業の工夫・改善を取り組む。				教員 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		生徒の実態に合わせ、小テストや補習を実施する。				教員 アンケート A : 概ね当てはまるが90%以上 B : 概ね当てはまるが80%以上 C : 概ね当てはまるが80%未溎	
		新教育課程を想定した教材研究を行い、指導方法を考察する。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが61%未溎	
		家庭学習時間の短い生徒に対し、学習法の紹介など個別指導を行う。				生徒 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが61%未溎	
		個人添削課題や週末課題を出し学習習慣の定着を図る。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
		現在の経済状況や雇用形態の変化をふまえ、職業意識・勤労観・ライフプランなどを考えさせる。				生徒 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが61%未溎	
国際教養科	①新商生の自覚を持ち、最高学年として他学年の模範となるような行動をとれる高校生活を送らせる。	社会人基礎力を意識し、ビジネスの場面を想定した指導を行なう。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
		○社会人としての準備のため、礼儀・言葉遣いを正しく行う。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
		○進路決定率は、年度内に100%の達成を目指す。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
		○全商主催の実務競技大会、コンテストをはじめ様々な大会・コンテストに挑戦する。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
	②英語運用力の養成	○デュアルシステム、インターナショナル、販売実習などに積極的に参加させ、地域との交流を深める。				教員 アンケート A : 概ねよくあてはまるのが70%以上 B : 概ねよくあてはまるのが60%以上 C : 概ねよくあてはまるのが60%未溎	
		基础・基本の資格取得を通して、高度資格取得に挑戦する意欲の高い生徒の育成を行い、学科目標を達成できるよう取り組む。				生徒 アンケート A : 100%以上 B : 95%以上 C : 95%未溎	
		○個別面談を年2回以上実施する。				生徒 アンケート A : 8回以上 B : 5回以上 C : 5回未溎	
		○保護者面談を年2回以上実施する。				生徒 アンケート A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○個別面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
		○個別面談を年2回以上実施する。				数値 年度末数値 A : 2回以上 B : 1回以上 C : なし	
国語	①進学希望の達成	○海外語学研修、ALTの活用などを通じて異文化に対する興味・関心を高めさせる。				教員 アンケート A : 国公立大学合格数 15名以上 B : 10名以上 C : 10名未溎	
		○大学入試センター試験と2次試験に応対できる指導を工夫する。				数値 年度末数値 A : 100%以上 B : 95%以上 C : 95%未溎	
		○生徒個々の進学希望の達成に向けて指導する。				数値 年度末数値 A : 進学達成率85%以上 B : 進学達成率80%以上 C : 進学達成率80%未溎	
		2. 3年生で、英検2級の取得者数を増やす。				数値 英検結果 A : 40人以上 B : 33人以上 C : 33人未溎	
	③国際理解教育の充実	○海外語学研修、ALTの活用などを通じて異文化に対する興味・関心を高めさせる。				生徒 アンケート 「国際理解	